

【令和6年10月27日】

総合旅行業務取扱管理者試験問題用紙

第2 時 限 目	受 験 区 分 (受験番号の頭の アルファベット)	試 験 時 間	受 験 科 目	問 題 用 紙
	A、G	13:30～15:30 (120分)	③ 国内旅行実務	1頁～20頁
			④ 海外旅行実務	21頁～42頁 資料編 1頁～6頁
	B、H	13:30～14:10 (40分)	③ 国内旅行実務	1頁～20頁
	C、E	13:30～14:50 (80分)	④ 海外旅行実務	21頁～42頁 資料編 1頁～6頁

※※ 注 意 ※※

1. 開始の合図があるまで、問題用紙は開かないでください。
2. 

受験区分が A、G の受験者は、③国内旅行実務と④海外旅行実務を解答してください。  
 受験区分が B、H の受験者は、③国内旅行実務を解答してください。  
 受験区分が C、E の受験者は、④海外旅行実務を解答してください。
3. 解答用紙の解答欄は、左側が③国内旅行実務、右側が④海外旅行実務となります。
4. 解答は問題の指示に従い、解答用紙の解答欄にマークしてください。
5. 頁の欠落や印刷の不鮮明なものがありましたら、着席したまま手を挙げてください。  
問題の内容に関する質問にはお答えできません。
6. 試験問題の配点は、問題用紙及び解答用紙に明示しています。
7. 試験問題、資料等一部試験用に設定された箇所があります。
8. 本試験問題は、特段のことわりのない限り、原則として令和6年8月1日を基準として作成しています。
9. 取り消し、払い戻し（もどし）等に関する設問については、通常時における取り扱いを問うものとして出題しております。
10. 出題の根拠となる法令・規則に関しては、令和6年8月1日現在施行、有効なものとしします。
11. 本年度の合格基準については、試験結果発表時（令和6年12月12日予定）に当協会ホームページに掲載し、受験者に郵送で通知します。なお、受験者個人の解答状況及び得点等に関してはお答えできません。
12. 試験不合格者のうち、試験科目「国内旅行実務」「海外旅行実務」のそれぞれの科目の合格基準に達した人は、翌年度の試験に限り、合格基準に達した科目の受験を免除します。試験結果通知の際、試験不合格を通知するとともに、当該科目の合否についても通知をします。

### ③ 国内旅行実務

第1問 次の貸切バスの「行程」(抜粋)に関する以下の問1.～問2.の各設問について、該当するものをそれぞれの選択肢から一つ選び、解答用紙にマークしなさい。(地名等については、都道府県等の公式ホームページ、百科事典等を参考としている。) (配点 2点×2)

[行程] ≡≡≡ : 貸切バス . . . : 徒歩

○日目	<p>広島(ホテル) ≡≡≡ 原爆ドーム . . . 平和記念公園 . . . 広島平和記念資料館 約5分</p> <p>≡≡≡ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">①</span> (町並み保存地区散策) ≡≡≡ 千光寺公園 ≡≡≡ 約80分 約60分 約70分</p> <p><u>②倉敷美観地区</u> ≡≡≡ 姫路(泊) 約100分</p>
-----	--

問1. 「安芸の小京都」といわれ、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている ① に該当するものは、次のうちどれか。

- a. 竹原                      b. 龍野                      c. 津山                      d. 矢掛

問2. 下線部②の「倉敷美観地区」にはない観光施設等は、次のうちどれか。

- a. 大原美術館                      b. 吉備津神社  
c. 倉敷アイビースクエア                      d. 桃太郎のからくり博物館

第2問 以下の問3.～問18.の各設問について、該当するものをそれぞれの選択肢から一つ選び、問19.～問20.の各設問について、該当するものをそれぞれの選択肢からすべて選び、解答用紙にマークしなさい。(地名等については、都道府県等の公式ホームページ、百科事典等を参考としている。) (配点 2点×18)

問3. 以下の〔写真〕にある赤瓦の民家が立ち並ぶ、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている集落がある八重山諸島の島は、次のうちどれか。

〔写真〕



a. 石垣島

b. 小浜島

c. 竹富島

d. 渡名喜島

問4. 以下の北海道の地図に示された①～④の湖に該当するものの組合せで、正しい組合せは次のうちどれか。

[北海道の地図]



- | ①の湖    | ②の湖   | ③の湖    | ④の湖    |
|--------|-------|--------|--------|
| a. 洞爺湖 | - 支笏湖 | - サロマ湖 | - 阿寒湖  |
| b. 洞爺湖 | - 支笏湖 | - 阿寒湖  | - サロマ湖 |
| c. 支笏湖 | - 洞爺湖 | - サロマ湖 | - 阿寒湖  |
| d. 支笏湖 | - 洞爺湖 | - 阿寒湖  | - サロマ湖 |

問5. 次の空欄に該当するものはどれか。

函館朝市、札幌二条市場と並んで北海道三大市場のひとつといわれている  にある和商市場は、お好みの魚介類をその場で選んで盛り付けて作る「勝手丼」で知られている。

- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| a. 網走 | b. 小樽 | c. 帯広 | d. 釧路 |
|-------|-------|-------|-------|

問6. 次の空欄に該当するものはどれか。

世界文化遺産に登録されている中尊寺には、奥州藤原氏初代清衡公によって上棟され、本年（2024年）建立900年を迎える[ ]があり、創建当初の姿を今に伝える建造物といわれている。

- a. 金色堂                      b. 讚衡蔵                      c. 弁慶堂                      d. 本堂

問7. 次の空欄に該当するものはどれか。

浅草から隅田川を下るクルーズ船を利用して行くことができる[ ]は、江戸時代の代表的な大名庭園で、海水を導き潮の満干によって池の趣を変える潮入の池があることで知られ、国の特別名勝、特別史跡に指定されている。

- a. 旧芝離宮恩賜庭園      b. 清澄庭園                      c. 浜離宮恩賜庭園      d. 六義園

問8. 次の空欄に該当するものはどれか。

長野県の桜の名所として知られ、「天下第一桜」の石碑が建っている[ ]には、コヒガンザクラの木が約1,500本あり、毎年、さくら祭りが開催される。

- a. 上田城跡公園              b. 小諸城址懐古園              c. 高遠城址公園              d. 松本城公園

問9. 次の空欄に該当するものはどれか。

2024年3月16日に金沢駅から敦賀駅まで延伸開業した北陸新幹線には、山代、山中、片山津の各温泉地への玄関駅として、[ ]駅が既存の駅に併設された。

- a. 粟津温泉                      b. 芦原温泉                      c. 加賀温泉                      d. 湯涌温泉

問10. 次の空欄に該当するものはどれか。

京都市上京区にある[ ]は、紫式部が「源氏物語」を執筆した邸宅があったとされ、本堂の前にある源氏庭には、紫の桔梗が6月末から9月初め頃まで咲くことで知られている。

- a. 石山寺                      b. 大覚寺                      c. 平等院                      d. 廬山寺

問11. 次の空欄に該当するものはどれか。

日本酒造りで知られる広島県の[ ]は「酒都」といわれ、赤レンガの煙突、白い漆喰と黒い海鼠壁の土蔵造りの酒蔵が点在する酒蔵通りがあり、毎年10月には全国から集められた地酒が楽しめる「酒まつり」が開催される。

- a. 呉                              b. 西条                              c. 福山                              d. 三次

問12. 九州地方の温泉地に関する次の記述から、正しいものだけをすべて選んでいるものはどれか。

(ア) 大分県の別府には8か所の温泉郷「別府八湯」があり、そのひとつの鉄輪温泉は、温泉の蒸気を利用して野菜などを蒸して食べる「地獄蒸し」や、一遍上人によって創設されたといわれる「むし湯」があることで知られている。

(イ) 熊本県の阿蘇外輪山のふもとの南小国町にある黒川温泉は、竹で作った筒灯笼や毬灯笼が温泉街を彩る「湯あかり」が冬の風物詩として知られ、露天風呂めぐりを楽しめる「入湯手形」がある。

(ウ) 長崎県島原半島の西岸にある小浜温泉は、橋湾に沈む夕日の美しさで知られ、日本一長いといわれる105mの足湯「ほっとふっと105」がある。

- a. (ア) (イ)                      b. (ア) (ウ)                      c. (イ) (ウ)                      d. (ア) (イ) (ウ)

問13. 次の下線部a.~d.のうち、誤っているものはどれか。

JR五能線沿線の観光スポットには、白神山地西部に位置するブナ林に囲まれた33の湖沼群 a. 十二湖、海岸と一体化したひょうたん型の露天風呂がある b. 下風呂温泉、恵比寿岩、かぶと岩などの奇岩が海岸線に続く夕陽の名所 c. 千畳敷海岸、高さ23メートルの人形灯笼が常設展示された d. 立佞武多の館などがある。

問14. 次の下線部a.~d.のうち、誤っているものはどれか。

福井県の観光地等には、県立恐竜博物館がある a. かつやま恐竜の森、北陸地方で唯一の現存十二天守 b. 丸岡城、若狭湾国定公園を代表する景勝地で、約6kmにわたる断崖美と奇岩、洞門、洞窟などが豪壮な景観をなす c. 東尋坊、越前国を五代103年間にわたって支配した戦国大名の城下町跡 d. 一乗谷朝倉氏遺跡などがある。

問15. 次の下線部a.~d.のうち、誤っているものはどれか。

徳島県の観光地等には、日本三奇橋のひとつとされる平家落人伝説の残る秘境祖谷にある a. かずら橋、吉野川の激流によってつくられた約8kmにわたる溪谷 b. 三段峡、世界の名画を原寸大に複製し展示している陶板名画美術館 c. 大塚国際美術館、山頂一帯が公園となっており徳島市の中心市街地を一望できる d. 眉山などがある。

問16. 次の下線部a.~d.のうち、誤っているものはどれか。

九州地方の観光地等には、水郷柳川にある国の名勝に指定されている a. 立花氏庭園、武雄市にある鍋島茂義公が造園したツツジや紅葉の名所で、池の水面プロジェクションで知られる b. 御船山楽園、高千穂神楽が境内の神楽殿でほぼ毎晩公演されている c. 天岩戸神社、奄美十景のひとつといわれ、奄美大島の北端近くに位置する d. あやまる岬などがある。

問17. 次の温泉地と観光地等との組合せのうち、同一都道府県にない組合せはどれか。

- a. 湯西川温泉 - あしかがフラワーパーク
- b. 袋田温泉 - 国営ひたち海浜公園
- c. 伊香保温泉 - 館林つつじが岡公園
- d. 仙石原温泉 - 笛吹川フルーツ公園

問18. 次の陶磁器と観光地等との組合せのうち、同一都道府県のものでない組合せはどれか。

- a. 益子焼 - 華厳の滝
- b. 九谷焼 - 兼六園
- c. 信楽焼 - 竹生島
- d. 石見焼 - 鳥取砂丘

問19. 次の郷土料理と城との組合せのうち、同一都道府県のものである組合せをすべて選びなさい。

- a. ふなずし - 彦根城
- b. めはりずし - 二条城
- c. 柿の葉寿司 - 姫路城

問20. 次の沖縄県の島とその島にある観光地等との組合せのうち、正しい組合せをすべて選びなさい。

- a. 沖縄本島 - 玉泉洞
- b. 宮古島 - 玉取崎展望台
- c. 西表島 - マリユドゥの滝

第3問 宿泊に関する以下の問21.～問22.の各設問について、該当するものをそれぞれの選択肢から一つ選び、解答用紙にマークしなさい。(配点 5点×2)

問21. 大人1人の基本宿泊料が1泊夕・朝食付き20,000円(サービス料別・税金別)の兵庫県神戸市有馬温泉の温泉旅館に大人2人と10歳の小学生1人で1泊する場合、宿泊客が支払うべき宿泊料金等の総額で正しいものは次のうちどれか。

- ※モデル宿泊約款により算出するものとする。
- ※子供は「大人に準じる食事と寝具等」を提供するものとする。
- ※サービス料は10%とする。
- ※入湯税は1人1泊につき150円(7歳未満は免除)とする。
- ※追加料金は発生しないものとする。

- a. 基本宿泊料  $20,000 \text{円} \times 2 \text{人} + (20,000 \text{円} \times 70\%) \times 1 \text{人} = 54,000 \text{円}$  ..... ①  
 サービス料  $54,000 \text{円} \times 10\% = 5,400 \text{円}$  ..... ②  
 入湯税  $150 \text{円} \times 2 \text{人} = 300 \text{円}$  ..... ③  
 消費税  $(54,000 \text{円} + 5,400 \text{円}) \times 10\% = 5,940 \text{円}$  ..... ④  
① + ② + ③ + ④ = 65,640円
- b. 基本宿泊料  $20,000 \text{円} \times 2 \text{人} + (20,000 \text{円} \times 70\%) \times 1 \text{人} = 54,000 \text{円}$  ..... ①  
 サービス料  $54,000 \text{円} \times 10\% = 5,400 \text{円}$  ..... ②  
 入湯税  $150 \text{円} \times 2 \text{人} = 300 \text{円}$  ..... ③  
 消費税  $(54,000 \text{円} + 5,400 \text{円} + 300 \text{円}) \times 10\% = 5,970 \text{円}$  ..... ④  
① + ② + ③ + ④ = 65,670円
- c. 基本宿泊料  $20,000 \text{円} \times 2 \text{人} + (20,000 \text{円} \times 70\%) \times 1 \text{人} = 54,000 \text{円}$  ..... ①  
 サービス料  $54,000 \text{円} \times 10\% = 5,400 \text{円}$  ..... ②  
 入湯税  $150 \text{円} \times 3 \text{人} = 450 \text{円}$  ..... ③  
 消費税  $(54,000 \text{円} + 5,400 \text{円}) \times 10\% = 5,940 \text{円}$  ..... ④  
① + ② + ③ + ④ = 65,790円
- d. 基本宿泊料  $20,000 \text{円} \times 2 \text{人} + (20,000 \text{円} \times 70\%) \times 1 \text{人} = 54,000 \text{円}$  ..... ①  
 サービス料  $54,000 \text{円} \times 10\% = 5,400 \text{円}$  ..... ②  
 入湯税  $150 \text{円} \times 3 \text{人} = 450 \text{円}$  ..... ③  
 消費税  $(54,000 \text{円} + 5,400 \text{円} + 450 \text{円}) \times 10\% = 5,985 \text{円}$  ..... ④  
① + ② + ③ + ④ = 65,835円



問22. 大人1人の基本宿泊料が1泊夕・朝食付き20,000円（サービス料別・税金別）の長崎県長崎市の旅館に大人2人と7歳の小学生1人の家族が1泊する場合、宿泊客が支払うべき宿泊料金等の総額で正しいものは次のうちどれか。

※モデル宿泊約款により算出するものとする。

※室料は1泊夕・朝食付き料金の70%とする。

※子供は「子供用食事と寝具」を提供するものとする。

※サービス料は10%とする。

※追加料金は発生しないものとする。

※長崎市の宿泊税の税率

宿泊料金（1人1泊）【注】	税率
10,000円未満	100円
10,000円以上20,000円未満	200円
20,000円以上	500円

【注】「宿泊料金」とは、食事代や消費税を除き、サービス料を含んだ金額である。

- a. 基本宿泊料  $20,000 \text{円} \times 2 \text{人} + (20,000 \text{円} \times 50\%) \times 1 \text{人} = 50,000 \text{円}$  ..... ①  
 サービス料  $50,000 \text{円} \times 10\% = 5,000 \text{円}$  ..... ②  
 宿泊税  $200 \text{円} \times 2 \text{人} + 100 \text{円} \times 1 \text{人} = 500 \text{円}$  ..... ③  
 消費税  $(50,000 \text{円} + 5,000 \text{円}) \times 10\% = 5,500 \text{円}$  ..... ④  
 $\text{①} + \text{②} + \text{③} + \text{④} = \boxed{61,000 \text{円}}$
- b. 基本宿泊料  $20,000 \text{円} \times 2 \text{人} + (20,000 \text{円} \times 50\%) \times 1 \text{人} = 50,000 \text{円}$  ..... ①  
 サービス料  $50,000 \text{円} \times 10\% = 5,000 \text{円}$  ..... ②  
 宿泊税  $200 \text{円} \times 2 \text{人} + 100 \text{円} \times 1 \text{人} = 500 \text{円}$  ..... ③  
 消費税  $(50,000 \text{円} + 5,000 \text{円} + 500 \text{円}) \times 10\% = 5,550 \text{円}$  ..... ④  
 $\text{①} + \text{②} + \text{③} + \text{④} = \boxed{61,050 \text{円}}$
- c. 基本宿泊料  $20,000 \text{円} \times 2 \text{人} + (20,000 \text{円} \times 50\%) \times 1 \text{人} = 50,000 \text{円}$  ..... ①  
 サービス料  $50,000 \text{円} \times 10\% = 5,000 \text{円}$  ..... ②  
 宿泊税  $500 \text{円} \times 2 \text{人} + 200 \text{円} \times 1 \text{人} = 1,200 \text{円}$  ..... ③  
 消費税  $(50,000 \text{円} + 5,000 \text{円}) \times 10\% = 5,500 \text{円}$  ..... ④  
 $\text{①} + \text{②} + \text{③} + \text{④} = \boxed{61,700 \text{円}}$
- d. 基本宿泊料  $20,000 \text{円} \times 2 \text{人} + (20,000 \text{円} \times 50\%) \times 1 \text{人} = 50,000 \text{円}$  ..... ①  
 サービス料  $50,000 \text{円} \times 10\% = 5,000 \text{円}$  ..... ②  
 宿泊税  $500 \text{円} \times 2 \text{人} + 200 \text{円} \times 1 \text{人} = 1,200 \text{円}$  ..... ③  
 消費税  $(50,000 \text{円} + 5,000 \text{円} + 1,200 \text{円}) \times 10\% = 5,620 \text{円}$  ..... ④  
 $\text{①} + \text{②} + \text{③} + \text{④} = \boxed{61,820 \text{円}}$

第4問 貸切バスに関する以下の問23.の設問について、該当するものを選択肢から一つ選び、解答用紙にマークしなさい。(配点 5点×1)

問23. 貸切バスの運賃に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

※「一般貸切旅客自動車運送事業の運賃・料金の変更命令について(令和5年8月25日付関東運輸局長公示)」によるものとする。

- a. 運賃は各運輸局で定められた公示運賃額の上限額と下限額の範囲内で決定される。
- b. 時間制運賃の算出で、走行時間(出庫から帰庫までの拘束時間をいい、回送時間を含む。)が2時間20分の場合は2時間として計算する。
- c. フェリーを利用した場合の航送にかかる時間(乗船してから下船するまでの時間)が3時間未満のときは、時間制運賃の対象としない。
- d. 学校教育法による学校(大学及び高等専門学校を除く)に通学又は通園する者の団体に対する割引については、届け出た運賃の下限額を下回らない額を限度とする。

第5問 フェリーの運送に関する以下の問24.の設問について、該当するものを選択肢から一つ選び、解答用紙にマークしなさい。(配点 5点×1)

問24. 大人3人(自動車の運転者1人を含む)、小学4年生1人、4歳の未就学児1人の計5人の家族が、自家用車1台(車長4m以上5m未満)で、広島県廿日市市の宮島口から宮島間をフェリーで往復する場合、支払うべき運賃等の総額で正しいものは次のうちどれか。(乗船する未就学児を除く家族は、宮島訪問税の支払いの対象となる旅行者とする。)

※海上運送法第9条第3項の規定に基づく標準運送約款によるものとする。

※旅客運賃(片道)は、下記のとおりとする。

大人1人 200円、小児1人 100円(小児は6歳以上12歳未満)

※このフェリーは、全席自由席で上等級や指定席はない。

※宮島へ訪問する際(宮島口→宮島)、宮島訪問税1人100円を必要とする。(未就学児は免除)

※自動車航送運賃(片道)は、1台1,700円(車長4m以上5m未満)とする。

a.  $(200円 \times 2 + 100円) \times 2人 + (100円 \times 2 + 100円) \times 1人 + 1,700円 \times 2 = 4,700円$

4,700円

b.  $(200円 \times 2 + 100円) \times 2人 + (100円 \times 2 + 100円) \times 1人 + 1,700円 \times 2 + 100円 = 4,800円$

4,800円

c.  $(200円 \times 2 + 100円) \times 2人 + (100円 \times 2 + 100円) \times 2人 + 1,700円 \times 2 = 5,000円$

5,000円

d.  $(200円 \times 2 + 100円) \times 2人 + (100円 \times 2 + 100円) \times 2人 + 1,700円 \times 2 + 100円 = 5,100円$

5,100円

第6問 国内航空に関する以下の問25.～問26.の各設問について、該当するものをそれぞれの選択肢から一つ選び、解答用紙にマークしなさい。(配点 5点×2)

問25. 日本航空の以下の予約便（購入済）を9月30日（搭乗日52日前）に取り消し、払い戻しをした場合、返金額で正しいものは次のうちどれか。

<b>旅程1</b>		2024年11月21日（木）	
発 東京（羽田）	✈	着 沖縄（那覇）	クラス：普通席 便名：JAL 905 機材：359 並 無料Wi-Fi ✦ USBまたはAC電源 動画視聴（座席モニター）
出発 08:05		到着 10:50	
座席	ジャタ イチロウ様		<input type="checkbox"/> 座席を変更・取り消しする
	座席：30G	搭乗方法：タッチ&ゴー	

合計金額 18,540 円

金額内訳を表示			
旅程1		その他	
スペシャルセイバー	大人：1名 × 16,300 円	国内線旅客施設使用料	大人：1名 × 610 円
合計	16,300 円	消費税	1,630 円
		合計	2,240 円

- a.  $(18,540 \text{ 円} - 610 \text{ 円}) \times 50 \% = 8,965 \text{ 円}$   
 $18,540 \text{ 円} - 8,965 \text{ 円} = 9,575 \text{ 円}$  9,575 円
- b.  $(18,540 \text{ 円} - 1,630 \text{ 円}) \times 50 \% = 8,455 \text{ 円}$   
 $18,540 \text{ 円} - 8,455 \text{ 円} = 10,085 \text{ 円}$  10,085 円
- c.  $(18,540 \text{ 円} - 610 \text{ 円} - 1,630 \text{ 円}) \times 50 \% = 8,150 \text{ 円}$   
 $18,540 \text{ 円} - 8,150 \text{ 円} = 10,390 \text{ 円}$  10,390 円
- d.  $(18,540 \text{ 円} - 610 \text{ 円} - 1,630 \text{ 円}) \times 5 \% = 815 \text{ 円}$   
 $18,540 \text{ 円} - 815 \text{ 円} = 17,725 \text{ 円}$  17,725 円

問26. 次の全日空の運賃から、小児ディスカウントが適用されるものだけをすべて選んでいるものはどれか。

(ア) プレミアム運賃

(イ) ANA SUPER VALUE 75運賃

(ウ) ANA VALUE 1運賃

a. (ア) (イ)

b. (ア) (ウ)

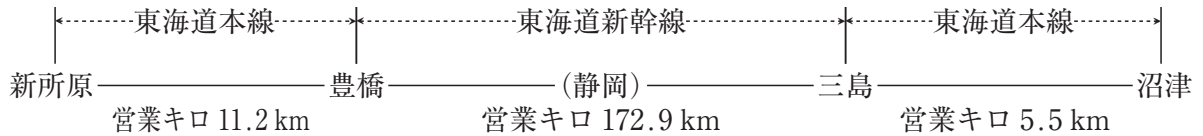
c. (イ) (ウ)

d. (ア) (イ) (ウ)

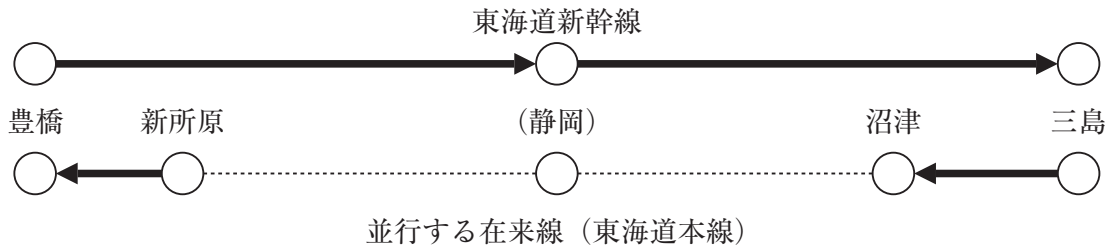
第7問 旅客鉄道（JR）に関する以下の問27.～問32.の各設問について、該当するものをそれぞれの選択肢から一つ選び、解答用紙にマークしなさい。（配点 5点×6）

問27. 以下の行程を大人1人が、途中下車しないで同日中に乗車する場合、新所原～沼津間の大人片道普通運賃で正しいものは次のうちどれか。

[行程]



<参考：駅の位置図>



※静岡～三島間は新幹線と並行する在来線を別の線として営業キロ等の計算を行う。

【本州内JR3社の幹線の普通運賃表】（抜粋）

営業キロ（運賃計算キロ）	片道運賃
4～6 km	190 円
(略)	(略)
11～15 km	240 円
(略)	(略)
161～180 km	3,080 円
181～200 km	3,410 円

a. 172.9 km ..... 3,080 円 3,080 円

b. 11.2 km ..... 240 円 ..... ①

172.9 km + 5.5 km = 178.4 km ..... 3,080 円 ..... ②

① + ② = 3,320 円

c. 11.2 km ..... 240 円 ..... ①

172.9 km ..... 3,080 円 ..... ②

5.5 km ..... 190 円 ..... ③

① + ② + ③ = 3,510 円

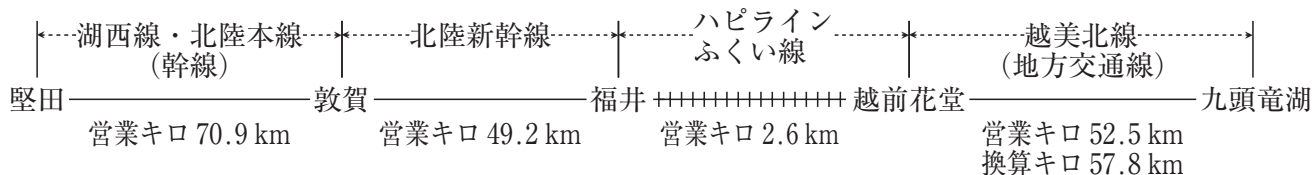
d. 11.2 km + 172.9 km = 184.1 km ..... 3,410 円 ..... ①

5.5 km ..... 190 円 ..... ②

① + ② = 3,600 円

問28. 以下の行程を大人1人が、途中下車しないで乗車する場合、大人片道普通運賃で正しいものは次のうちどれか。

[行程]



※ JR線とハピラインふくい線は通過連絡運輸の取扱いを行っている。

【本州内JR3社の幹線の普通運賃表】(抜粋)

営業キロ (運賃計算キロ)	片道運賃
121~140 km	2,310 円
(略)	(略)
161~180 km	3,080 円
181~200 km	3,410 円

【本州内JR3社の地方交通線の普通運賃表】(抜粋)

営業キロ	片道運賃
47~55 km	990 円
56~64 km	1,170 円

【ハピラインふくい線の普通運賃表】(抜粋)

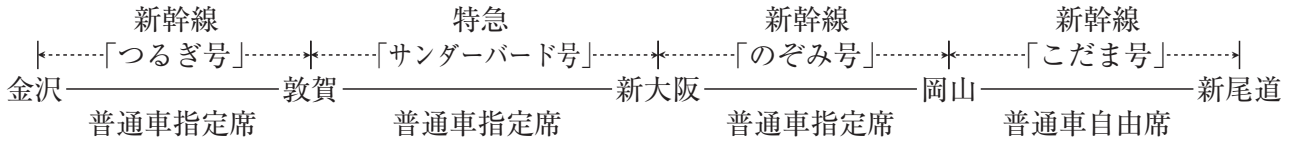
福井	
170 円	越前花堂

- a.  $70.9 \text{ km} + 49.2 \text{ km} + 57.8 \text{ km} = 177.9 \text{ km}$  ..... 3,080 円 ..... ①  
 ハピラインふくい線の運賃 ..... 170 円 ..... ②  
 ① + ② = 3,250 円
- b.  $70.9 \text{ km} + 49.2 \text{ km} + 2.6 \text{ km} + 57.8 \text{ km} = 180.5 \text{ km}$  ..... 3,410 円
- c.  $70.9 \text{ km} + 49.2 \text{ km} = 120.1 \text{ km}$  ..... 2,310 円 ..... ①  
 $52.5 \text{ km}$  ..... 990 円 ..... ②  
 ハピラインふくい線の運賃 ..... 170 円 ..... ③  
 ① + ② + ③ = 3,470 円
- d.  $70.9 \text{ km} + 49.2 \text{ km} = 120.1 \text{ km}$  ..... 2,310 円 ..... ①  
 $57.8 \text{ km}$  ..... 1,170 円 ..... ②  
 ハピラインふくい線の運賃 ..... 170 円 ..... ③  
 ① + ② + ③ = 3,650 円



問29. 以下の行程を大人1人が、繁忙期に同日中に乗り継ぐ場合の特急料金で正しいものは次のうちどれか。なお、敦賀駅では駅の改札口を、岡山駅では新幹線の改札口を出ないで乗り継ぐものとする。

[行程]



【北陸新幹線と特急「サンダーバード号」を敦賀駅で改札口を出ないで当日中に乗り継ぐ場合の通しの指定席特急料金（通常期）】（抜粋）

金 沢	
4,570 円	新大阪

【山陽新幹線「のぞみ号」の指定席特急料金（通常期）】（抜粋）

新大阪	
3,380 円	岡 山

【山陽新幹線「ひかり・こだま号」の指定席特急料金（通常期）】（抜粋）

新大阪		
3,060 円	岡 山	
3,930 円	2,290 円	新尾道

- a.  $4,570 \text{ 円} + 200 \text{ 円} = 4,770 \text{ 円}$  ..... ①  
 $3,930 \text{ 円} + (3,380 \text{ 円} - 3,060 \text{ 円}) + 200 \text{ 円} = 4,450 \text{ 円}$  ..... ②  
 ① + ② = 9,220 円
- b.  $4,570 \text{ 円} + 200 \text{ 円} + 200 \text{ 円} = 4,970 \text{ 円}$  ..... ①  
 $3,930 \text{ 円} + (3,380 \text{ 円} - 3,060 \text{ 円}) + 200 \text{ 円} = 4,450 \text{ 円}$  ..... ②  
 ① + ② = 9,420 円
- c.  $4,570 \text{ 円} + 200 \text{ 円} = 4,770 \text{ 円}$  ..... ①  
 $(3,380 \text{ 円} + 200 \text{ 円}) + (2,290 \text{ 円} - 530 \text{ 円}) = 5,340 \text{ 円}$  ..... ②  
 ① + ② = 10,110 円
- d.  $4,570 \text{ 円} + 200 \text{ 円} + 200 \text{ 円} = 4,970 \text{ 円}$  ..... ①  
 $(3,380 \text{ 円} + 200 \text{ 円}) + (2,290 \text{ 円} - 530 \text{ 円}) = 5,340 \text{ 円}$  ..... ②  
 ① + ② = 10,310 円

問30. JRの乗車券類の有効期間に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- a. 自由席特急券の有効期間は、2日間である。
- b. 片道の営業キロが180 kmの区間の往復乗車券の有効期間は、3日間である。
- c. 東京近郊区間の成田空港～松本間（営業キロ310.5 km）を、在来線のみを利用する場合の片道乗車券の有効期間は、3日間である。
- d. 片道乗車券で乗車中に有効期間を経過した場合は、途中下車をしない限り券面に表示された最終駅まで使用できる。

問31. 以下のJR券を5月31日に払いもどしをした場合の払戻額で、正しいものは次のうちどれか。



- a.  $(6,700 \text{ 円} + 8,380 \text{ 円} + 8,380 \text{ 円}) \times 0.3 = 7,038 \text{ 円} \rightarrow 7,030 \text{ 円}$   
 $32,590 \text{ 円} - 7,030 \text{ 円} - 220 \text{ 円} = 25,340 \text{ 円}$  25,340 円
- b.  $(8,380 \text{ 円} + 8,380 \text{ 円}) \times 0.3 = 5,028 \text{ 円} \rightarrow 5,020 \text{ 円}$   
 $32,590 \text{ 円} - 5,020 \text{ 円} - 220 \text{ 円} = 27,350 \text{ 円}$  27,350 円
- c.  $8,380 \text{ 円} \times 0.3 = 2,514 \text{ 円} \rightarrow 2,510 \text{ 円}$   
 $32,590 \text{ 円} - 2,510 \text{ 円} - 220 \text{ 円} = 29,860 \text{ 円}$  29,860 円
- d.  $6,700 \text{ 円} \times 0.3 = 2,010 \text{ 円}$   
 $32,590 \text{ 円} - 2,010 \text{ 円} - 220 \text{ 円} = 30,360 \text{ 円}$  30,360 円

問32. 交通新聞社発行JR時刻表（2024年5月号より抜粋）に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- a. 快速「マリンライナー7号」に岡山駅から乗車した場合、琴平駅まで乗り換えなしで行くことができる。
- b. 特急「南風3号」は、坂出駅を通過する。
- c. 特急「しまんと3号」は、高松駅発、高知駅行きの列車である。
- d. 高松駅を10時以降に出発し、琴平駅に最も早く到着できるように乗り継ぐと、琴平駅到着時刻は11時37分である。

# 交通新聞社 JR時刻表 (2024年5月号より抜粋)

列車番号	31D			3105M				3107M	3109M	3111M	33D	3113M	8021D	3115M	3117M	35D	3119M																								
列車名	特急南風1号			快速マリンライナー5号				快速マリンライナー7号	快速マリンライナー9号	快速マリンライナー11号	特急南風3号	快速マリンライナー13号	特急南風1号	快速マリンライナー15号	快速マリンライナー17号	特急南風5号	快速マリンライナー19号																								
発着	708	728		637	646	653	702	717	710	755	719	803	810	726	735	751	824	852	840	853	859	909	924	905	919	928	943	933	940	946	956	1005	1026	954	1009	1020	1035				
列車番号		2003D		1219M				8031M	1221M	2005D	5223M	5111M		5225M												1227M	115M									5229M					
列車名		特急しまんと3号	特急あしずり1号					特急サンライズ瀬戸	特急しまんと5号		快速サンポート南風リレー号		特急あしずり3号		快速サンポート南風リレー号																										
発着		723	737	741	745	748	751	755	759	802	810	820	826	831	834	846	850	855	926	930	933	936	941	947	950	955	959	1004	1048	1028	1032	1035	1041	1051	1055	1100	1104	1105	1108	1111	1114
列車番号				6219D				826	833	839	841	847	850	851	855	900	909	914	918	923	923	924	942	942	942	942	942	942	942	942	942	942	942	942	942	942	942	942	942	942	
列車名				多金善琴塩黒嶺坪箸	度蔵通	津寺寺平入川田尻蔵	阿波池田	三祖阿小大土豊大土角繁新土山土佐	後免	高入円行寺旭	知明口																														
発着				756	801	806	828	829	849	907	927	931	932	939																											
列車番号				2071D	8073D			4725D																																	
列車名				高入円行寺旭	知明口																																				
発着				951	1002																																				

下り 土讃線(高松—多度津—高知—窪川)(その1)